

神（天気）は微笑むのか？

そして、目標達成へ向けて一步前進できるのか？

期待を込めた南アルプス縦走の第4弾

夜叉神峠～鳳凰三山～甲斐駒ヶ岳～仙丈ヶ岳～北沢峠 縦走！！

日時：2007年7月21日～24日 3泊4日

人：迫（単独山行）

台風4号の爪あと、新潟の地震と自然災害が続く中、兼ねてから計画し温めてきた縦走計画を実行することになった。同日にもっと甘い山行の誘惑もあったが、涙ながらそれを振り切り、深夜23:59新宿発の臨時快速に乗るべく宇都宮を出発。

今まで南アルプスは3回行っておりそのうち2回は台風とのランデブーで展望はほとんど眺められていない、今回は台風一過で梅雨もあけるぎりぎりの日程で組んでみた。

7/20 前夜発

18:53 宇都宮発 普通車両であるが、荷物が大きい他のお客に迷惑をかけまいと、グリーン車に乗ってしまう。（初めてPASMOを使った）
楽チン・・・軟弱・・・

20:42 新宿でも、23:59発のムーンライト信州83（信濃大町行き）、あと3時間・・・
ホームの待合室で仮眠。

ムーンライト信州81（白馬行き）が10分前あるのだが、こちらも全席座席指定であり、既に満席。やはり見ているとほとんどが土日で山に入る人だけ。

自分が乗る車両は臨時便であり、信濃大町止まりなのでまだ席は空いていた。

最近車の便が良くなり、深夜発の急行や鈍行が無く電車で山に行くにはちょっと苦労する。自分はもともと、電車での山デビューなのでチョイト寂しい。

上野発夜行のあの混み具合、床や隙間に新聞敷いて寝る・・・懐かしい。

7/21

2:28 甲府駅着・・・信州まで行けば、到着が6:00ころになるので丁度良いが、甲府では早く着きすぎてしまう。が丁度いい時間の電車が無い。
バスの時間まで小雨の降るなか、屋根の付いたベンチで仮眠（よく眠れん）
やはり同じような人が数人いる。

4:00 甲府駅発 乗客は山に行く人だけの23人

バスガイドのオパチャンの話を聞くと、夜叉神からは台風4号の影響で崩れており通行できないため、夜叉神折り返し運転中とのこと。広河原からの入山予定者が数人悩んで計画変更していた。

7/27を目標に工事中ということ。夏休みのバットレスの計画が一時はどうなるかと思ってしまった。

（後で北沢峠で聞いた話だが、最終日の24日には開通したらしい。また、夜叉神～広河原～北沢峠の林道は県道のため予算を申請し許可が下りるまで作業できず時間がかかるらしい。流石お役所仕事だ）

5:15 夜叉人峠着 トイレ、駐車場有りなので、バットレスの時はここまで車で来よう。
トイレを済まし、水を1L補給して。

5:30 夜叉人峠出発
出だしで先は長いので、ペースはゆっくり目に進む。

6:25 夜叉神峠小屋着（1770m）曇り時々小雨、やはり・・・
何も見えない、展望なし。

7:35 1本（2105m）明るくなったり、暗くなったり、雲が早い。

7:53 杖立峠通過

8:33～8:45 1本（2255m）鉄のヤグラがあるところ。

ガスは取れたようだが、雲がある。上空には薄っすら青空が見えるが雲が早くすぐに見えなくなる。雲は、薄い。チョット期待してしまう。

9:23~9:35 1本(2524m) 苺平 久しぶりの2000m以上での縦走、体がまだ馴染まず、ペースの上
手く掴めていないので結構きつい。

この辺は、樹林帯が続きひたすら単調な登り。展望も無くひたすら高度を稼ぐ。
と、思うと下る・・・おい。もったいないじゃないか。
湿度は高めだが、風もそこそこあり、暑い日差しが無い分まだ歩きやすい。

10:02~10:15 南御室小屋着 再び雨がパラパラ降ってきた・・・やはり・・・
10:57 ガマの岩通過

モモがピクピクしている。塩(ナトリウムが足りない・・・)
先週はチョット意識して塩摂っていたんだけどな～～
那須は晴れているのかしら？みんな～元気に登っているか～い！？

11:25~11:45 薬師岳小屋着
奇岩の谷間にあり、薬師岳のすぐ手前の小屋。この辺はこんな奇岩が多い。
今は晴れているが、雲が早い。
この辺は山岳マラソンのトレーニングの人が多くようだ、軽装、短パン、ジョギングシューズ
絶対真似したくない・・・できない。

11:50 薬師岳(2780m) 鳳凰三山の一角を落とす。
高齢団体が10人位休憩中。でもだいぶバテているみたい大丈夫？
これから向かう次のターゲットの観音岳は雲の中。後ろには北岳が望める筈なのだが、全く
気配なし。ザレて砂の混じる尾根を進む、ここは稜線でたいした登りも無いので楽チン。

12:37~12:55 観音岳着(2840.4m) 更にもう
一つ。

流石に2800mで若干空気が薄いかな。
チョット疲れた。。いや、結構疲れた。

13:13 直接、地蔵岳へ行く山道との
分岐を通過。
ここから下る。距離は短い、初日の行程の
最後にこの急な下りはつらい。
左手にはオベリスクと明朝登る急な登り斜面
が見える。明日あれを登り返すことを考える
とこの下りも辛くなるので、小屋でのビールの
ことを考えつつ下る。
下方から沢の音と人の声が聞こえてくる。
沢で顔、腕を洗うが冷たく非常に気持ちよい。



観音岳

13:55 鳳凰小屋キャンプ指定地着
一休みしてテント設営。小屋の親父やバイトの子と話す、感じの良い人たちだ、
ここはこの時期のバイトの応募でも競争率が高いらしい。
今回は軽量化のため、テントを持たずツェルト+ポールですます。軽くてGOOD。
沢の音を聞きながら、ビールを飲み干す。最高～～～！
水よし、テンバよし、ロケーションよし、バイトの子よし！
バイトの子に地蔵岳までの時間を聞いたら「お兄さんなら健脚そうだから1時間位じゃあ
ないですか」と言われ、「健脚」ではなく、「お兄さん」に反応して嬉しくなってしまった。
そんな自分はやはり〇〇さん？！・・・

本日の行動時間：8時間30分
予定通り(コースタイムより20分早着)
食事後19:00前には寝てしまった。

鳳凰小屋のテント場



7/22

4:00 起床 雲あり、晴れ！やったー

塩ラーメン食し、準備する。(このおかげかこの日はピクピクが無かった)

5:20 出発 思った以上に時間がかかってしまった。

6:16~6:50 オベリスクの科尔着 鳳凰三山完了。

オベリスクに登ってみようと思ったが、ロープが信用できずやめた。

男女5人組みと話し込んでしまった、ヤマケイ JOY に投稿するだかなんだか言っていたが、はたして。

北岳~甲斐駒ヶ岳それから、今日進む稜線の山並みが眺められる。晴れてはいるが雲があり

流れが速い。あの稜線を進むのかと思うと気が重くなるのと反対に、楽しみでもある。

天気も景色も良いのでゆっくりしたかったが、今日は長丁場、ノンビリできず。

(それでも、30分ノンビリしたが・・・)

7:06 赤抜沢ノ頭 通過

雲が切れ、北岳がGOOD、大樺沢に雪渓が残り、バットレス取り付けにも雪が残っている。

夏休みの登攀には消えてくれるだろうか。

甲斐駒ヶ岳手前には岩壁の難所が連なっている。

いつかは、自分もとよからぬことを考えつつ

進む。

この早川尾根はあまり人が行かないと書いてあったが、高嶺を先行している人が見えた。

あ、やっぱりいるんだ、アホなことしてるやつが・・・失礼、女性でした。



↔ 位置的に多分つながる



↑手前からの尾根が早川尾根、その向こう右に甲斐駒ヶ岳、左に仙丈ヶ岳

←北岳：大樺沢とバットレス取り付けに雪渓が残る

7:42~7:55 高嶺 着 1本

足元からヘリのE/G音と沢の音が聞こえてくる。雲があるが時々切れて山並みが見える。

しかし、仙丈ヶ岳は見えず。富士山の頭が少し覗いている。

ここからは稜線歩きだ。始めは標高が高く樹林も少ないのだが標高が下がると、樹林帯となり、かなりのアップダウンがある。

下りはいいのだが、やはり登りはきつい、しかし、今日は自分のペースがつかめたようでピッチ良く進んでいる。

8:31~8:40 鳳凰峠 1本

夜叉神でほぼ一緒に出発した光岳まで縦走する人を抜いたが、この人は2週間かけての縦走らしい。羨ましいが、真似したくない・・・

2週間あったら海外行きたいね。

9:28~9:40 広河原峠 1本

ピッチがいいとはいってもやはりきつい。しんど〜い。

この辺はほとんど樹林帯、ジメっとしているが、日陰で風も若干ある。が、汗は流れる。

10:11~10:35 早川尾根小屋 1本

小屋管理の夫婦が屋根に布団を干して、お茶して

寛いでいた。気持ちよさそう羨ましい。

水を補充し、足に絆創膏貼って出発（靴下の縫い目が当たって痛い）

ひたすら樹林帯を進む、3,4のピークを越えていくが登りがかなりの急登がありメチャきつい。

あえぎながら、少しずつ進むしかない。止ってばかりでは先に進めない、と自分にカツを入れ。

11:22~11:33 (2625m) のピーク 1本

ハエうるさし。

樹林帯と交互に出てくるハイ松帯ではハイ松の蛍光

イエローの花粉が毒々しい色を放ちながら

まとわり付く。これ、結構キモイ。

雲が上がってきて、今にも降り出しそうな状況になってきた・・・やはり・・・

12:11~12:23 ミヨシの頭 1本 (チョット早い)

雨がパラパラ降り出した。

13:03~13:15 アサヨ峰

雲中で視界なし。

しかし、アサヨ峰直下で、2羽の雷鳥が出迎えてくれた、びっくりしたが感激！

2m位でも逃げない。山道を進むと自分から逃げるようにして山道を進んでいく、自分が止まると雷鳥も止まる。まるで追いかけてこのようだが、自分には、今、そんな余裕は無い。

なんてことは雷鳥は知らず。。。。

やっとここで、本日の2/3、あと3時間。

重い思いをして持ってきたトマトが美味。

ここからは、ガレ場となる。予定より30分の先行。

あ・・・また、降ってきた・・・やはり・・・

14:03~14:20 栗沢山(2710m) 分岐がある、一見左へ行ってしまうそうだが、右前の先が見えない

方へ進むのが正解。

先行していた女性はここで少し間違えたと言っていた。

見下ろすと、北鎌みたいなガレ場、振りかえるとやはり

北鎌みたいな稜線、しかし、雲って良く見えん。

この下りのガレはきつい、膝が少し痛い。

途中から樹林帯となるが、ここもやはりきつい。

15:13~15:27 仙水峠 疲れたぞ〜〜

ここには、ケルンが多い、積雪時には両側から雪崩そうな

ロケーション。怖え〜〜

怖いところはとっととぬける。

あと、30分



カラマツソウ



クモマスミレ

15:52

仙水小屋 着

小屋の手前 50m 位に尺八を練習しているおじさんがいた????通過
ツェルトを立てて一息つき。やはり、ビールが美味しい。
中高年グループが外のテーブルで夕食を摂っている。美味そう～～食いて～
小屋のオヤジと話したら「うまそ」ではない、「うまいんだ」と言われた。
夏の縦走はTシャツの着替えが必要であることを忘れていた。すげー臭せ～～。
洗ってみたが、気温が低く乾く気配なし。冷たい・・・
夕食を摂っていたら雨が降ってきた・・・やはり・・・
急いでツェルト内に入る。が、げ！このツェルトはシームテープ処理されていない。。。。
少しの雨でセンターライン上からポタポタと足れてくる。
やばい、既にだいが濡れてきた。緊急避難。小屋のオヤジにお願いして素泊まりとさせて
もらうことにした。軟弱者と言われるかもしれないが・・・
雨じゃあね、雪ならまだ漏れてこないからまだいいものの。
おかげでヌクイー晩でした。

本日の行動時間：10 時間 30 分 オベリスクで遊んだ分遅れたが、ON TIME だった。



7/23

3:30

起床 っていうか、中高年グループと一緒に起きた。しかも小屋の電気まで自動で
点いた。隣のオヤジのイビキうるせ～～～
小屋の中に、ねずみ！と叫んでいたが、良く見るとヤマネでした。
見た目一緒なのにね。
独り外でラーメン食し、出発の準備をする。
昨日先行していた女性から声をかけられた。自分と一緒に夜叉神からスタートしたいが、
気がつかなかった。
この人とは、この後、北沢峠まで、抜きつ抜かれつ一緒だった。ほぼ自分と同じペース。

4:50

仙水小屋 発

5:18

仙水峠 通過

目の前に甲斐駒ヶ岳の摩利支天の壁がそびえる。

5:49

1 本

北東の空が、上層の雲の隙間から、下層の雲へ光が差し込んできており幻想的、手前には
黒く陰り雲に霞む摩利支天。
少し雨交じりの風、夜は少し星があったようだが、やはり・・・
朝一の急登はきつい。

6:00

クソタイム

6:56～7:10

駒津峰 着

荷物をデポして、甲斐駒ヶ岳へ向かう。
空身なので、直登ルートへ、なかなか面白いですが、この直登ルート。

3点支持ができていれば、軽いです。こっちの方が、花はきれいに咲いているし、おまけに雷鳥まで迎えてくれた。

8:00JST 甲斐駒ヶ岳山頂 着
しかし、雨なし、展望もなし。
～8:20 先行していたあの女性が一般ルートから登ってきた。やっぱ、空身はいい。
展望もないので、長居無用、今日は仙丈ヶ岳まで行かないといけないので、早々に出発する。この女性も一緒だが、なんだか危なっかしい下り方、だが、早い！でも、空身には勝てず、自分が先行して駒津峰までもどる。一般道の下りでは、甲斐駒ヶ岳へ登る多くの中高年グループとすれ違う。かなり辛そう。今にも倒れそう・・・大丈夫かいな。



イワカガミとアオノツガザクラ

9:07～9:35 駒津峰 1本
風があり、少し冷える。持参のトマト食して、一息つく。後は、北沢峠まで下る。

10:05 双児山 通過

10:24 1本 この下り長い・・・膝が痛い。
なかなか、北沢峠に着かない。間違えたか？地図を見直すが、山道は他になく、分岐も無かった。

11:24 北沢峠 着(2030m)
この辺は DOCOMO は入らず、AU であれば入るようだが、自分は DOCOMO なので入らず、仕方なく長衛小屋のカード電話から仙丈小屋へ予約の TEL を入れる。小屋のオヤジの話だと、3.5 時間位だといわれるが、疲労の溜まった状態なので到着は 16:00 と伝えておく。
しばし休んでいると先ほどの、女性かコーヒーを入れたのでくれた。コーヒーが美味しい。愛媛から旦那さんを置いて一人で登りに来たらしい。

12:00JST 北沢峠 発
さ～て最後の登り開始。
仙丈ヶ岳は 3032m なので、一気に 1000m を登る。約 4 時間つまり、200m/1 時間のペース一合目、二合目まではいいペース。しかし・・・

12:56～13:10(2330m) 1本 少々ガスってきた

13:46～14:00(2535m) 大滝の頭 1本
甲斐駒からの登り返し、しかも、3日目で結構疲れているようだ。
樹林帯をぬけ、ハイ松帯+ザレ場で雷鳥の親子に会う。メス+3羽のヒヨコ。
マジかわいい。1m位でも逃げようとしな。写真撮りまくり。
メスは砂浴びしている。
今回は雷鳥に恵まれている、これで3回目の出会い。自分の相手とはいつ・・・？



←雷鳥のメスと
3羽のヒヨコ
(さすが保護色)

ここまで →
寄っても
逃げない
ヒヨコ



15:00JST～15:15 小仙丈ヶ岳(2855m) 1本
一瞬甲斐駒が見えた。がすぐ雲中。仙丈ヶ岳まであと1時間！
ちょっと気持ち悪くなり、ペースが落ちる。

15:55 仙丈小屋への分岐通過 仙丈ヶ岳へ進む。
今までの経験上、山頂や行きたいところへは、行ける時に行っておく。明日は雨かもしれない。
これは一昨年の槍で学んだこと。
仙丈ヶ岳の手前の山道で下から声がかかった。小屋のオヤジがこちらを見つけて声をかけて
来たようだ。「晩飯は5時だぞ～！」だって、あと、40分位しかない。
返事して、ペースを上げる。

16:10 仙丈ヶ岳(3032m) 着 これで目標へあと
2つ！（残り、聖と立山）取り急ぎ山頂で写真を
撮って小屋へ下る。

16:32 仙丈小屋着 きれいな立派な小屋である。
先日の仙水、早川尾根とは違い、立派である。客が
多いここではやはり収入が多く・・・
夕食が17:00ということなので、荷を解きリラックス
・・・臭い！

北沢峠から南側ではキャンプは一切禁止となっている
ので、ここでは、仕方なく小屋泊まり
となってしまう。仕方なく・・・である。

小屋の飯、美味すぎる。今まで山飯だったので美味しい。米が美味しい。おかわりしてしまった。
ハンバーグ、カボチャの味噌汁、ポテトサラダ、キャベツの千切り。

月曜日の夜ということで、客も少なく3組計7人。

しかし、テレビが点いていてチョットガックシ。なんだか、別荘に来たみたいだ。

こんな、きれいなどころに臭い体で泊まっているのだろうか・・・

明日は、13:00のバスなのでゆっくりできる。



本日の行動時間：11時間40分

7/24

明るくなった時 起床

夜の星を撮りたくて重い三脚を持ってきた。しかし、夜窓から外を見ると雲っている。
写真は取れないと諦め、寝いってしまう。朝のんびりしていたら、日の出を見損ねて
しまいそうになった。3:30ころに夫婦が起きて出ていたったようだが、曇っているのに。。。

朝は、ピーカン しまった！ 朝日を山頂から見損ねた。

帰ってきた夫婦から話を聞くと、夜は晴れていて、星もきれいだったということ。???

聞くと、窓が曇っていたらしい。ショック。マジで、ショック。

何のために重い思いして三脚持ってきたんだ！

今回の山行で唯一にして、最大の失敗だ～～～～～～

小屋のオヤジに聞くと、今年始まって以来のすばらしい朝だということを知りて更に、
ショック！！！！

小屋の前から、北アルプスの
面々から、八ヶ岳、昨日登った
甲斐駒ヶ岳、その間に小屋の
オヤジに聞いたところの日光の
男体山が眺められる。これらが、
朝日にシルエットになって美しい。





↓乗鞍岳

↓西穂・奥穂・北穂・キレット・槍ヶ岳
立山↓

写真を撮りまくって、朝食をとり出発準備する。
更に、この世のものとは思えない悪臭を放つ靴下を再度履いて出発する。
マジ臭い。

6:05 小屋 発 今日はいーカン気分も良い。
一つ下の馬の背小屋から、中学生+引率の先生たちが上がってきている。
学生たちが少し先に出発してしまった。
途中で集団を抜く。

6:43 仙丈ヶ岳 着 (2度目)

360度の大展望 目の前には北岳とその左後ろには富士山、右には、間ノ岳、農鳥～荒川岳
赤石岳らの南アルプスの山々、富士山の更に左には、初日に登ってきた鳳凰三山と、オベリス
ク～早川尾根、アサヨ峰、甲斐駒ヶ岳、男体山、八ヶ岳、はなれて、北アルプスの山々、槍ヶ
岳はどこから見ても直ぐに分かる。そして、キレット、奥穂高～西穂、乗鞍岳、さらに、御岳、
その手前には中央アルプス（空木岳ら）が並んでいる。 こんなの見れるから、山はやめられ
ない。



↓オベリスク(鳳凰三山)

↓富士山

↓北岳 間ノ岳↓ 農鳥岳↓

最後に、南アルプスは微笑んでくれた！最高！
終わりよければ全て良し！！この天気、この展望、文句なし。
湯を沸かし、コーヒーを飲む。生徒たちがチョイト喧しいが、ま、いいでしょ。
ポテトチップの袋は3000mで破れる！ってことをトリビアに出そう！と先生が騒ぎ、ポテチで
乾杯していた。

- 7:40 出発 生徒たちが先に出発した。
仙丈ヶ岳、また来るぜ！！今度は冬季に来たいな。
- 8:25～8:41 小仙丈ヶ岳 着
後は、ひたすら下るだけ。
学生が多いようだ。そういえば、夏休みに入っているようで、大学生や、高校生のパーティーが多い。
暑い、晴れて気持ちがいいのだが、やはりこの時期の晴天は暑い！人間ってわがまま・・・
- 9:20～9:30 大滝の頭
この手前あたりから、樹林帯に入り日陰になって涼しくなってくる。
- 10:07 2合目の分岐 通過
チョイト、膝が痛くなってきた。
- 10:21～10:27 1本 ペースはいいが、膝が痛む。のんびり行こう。
- 10:39 北沢峠 着
下山 完了！

本日の行動時間 5時間30分



山頂で一緒だった中校校の先生や小屋で一緒だった夫婦達とのんびり山の話をしてまどろむ。
この中校生たちがチャーターしたバスに空きがあったので便乗させてもらう。
北沢峠から、仙流荘までバスいくが、バスの運ちゃんが面白い。景色を眺めながら色々話してくれている。マアおそらく一緒に乗っている生徒のためであろうが・・・
当の生徒たちは疲れてお休み中・・・
便乗できたおかげで早めに仙流荘まで下れた。 が、 BUT しかし・・・
しか～～し、ここで、最大で、最悪の状況を迎えることとなる。
なんと、仙流荘の温泉が火曜日定休日！！休み～～～！
フロに入れず。なんと言ふことだ。この臭いまま、バス、JRに乗ることになる。
公衆トイレで一応、体を拭いて、下着を着替える。が・・・
でも、臭い。 臭いままバスに乗る。
新宿から、JR・・・臭いまま・・・
普通車には迷惑と思ひ、グリーンに乗る！？！？！しかたなく・・・
あまりに臭いため JR 車内では靴を脱いで寛ぐことができず・・・

12:00 近く まア、何とかアパートに到着。

今回の山行では、1日の行程を少し長めに設定して単独山行では軟弱になってしまう自分への課題としてみた。テントもツェルトにして、食糧も軽量化を図ったためスタート時でさえ20kgと軽量化が図れ、予定通りの行動が取れた。
このことは自分にとっても自信となることだろう。
そしてしばらく停滞していたことに関しても1つ進捗し、あと2つになった。
聖岳、立山は、積雪期にトライしてみたい。

やっぱ、縦走はいいね。